

# 「さきもり隊」活動が刺激に

## 第7回日野町まちづくり町民会議

まちの課題やこれからのまちづくりなどについて話し合う日野町まちづくり町民会議（生田公恵会長）が、4月15日、町役場で開かれました。

今回の会議では、4月4日に行われた

「ジゲの防人隊」の映像を上映した後、各グループで話し合いました。



### さきもり隊、上菅で初作業

町民会議委員有志らによるボランティアグループ「ジゲの防人隊」の第1回の作業を、4月4日、下上菅で行いました。

当日は、町民会議委員と学生ボランティアら21人が参加、上菅地区の皆さんと協力し合いながら、地区内の井手さらいに汗を流しました。

作業の後は、地域の皆さん手作りのカレーを食べながらの交流会。にぎやかに語り合いながら参加者同士交流を深めていました。

■さきもり隊派遣要請などのお問合せは、  
役場企画政策課（電話 72 - 0332）までお電話ください

## テーマ「少子化・若者定住、文化・観光 生活環境」について

### 【主な意見】

- ▼日野病院について。平日に行きたくても仕事を休まないと午後を受付けに間に合わない。働き盛りの人が診てもらえないのはおかしい
- ▼週何回かでも遅めの時間に診療してほしいと思う
- ▼学校の子どもの数が減りつづけている。ある程度の人数がいないとクラブ活動もできなくなる
- ▼定住してもらえない若者を増やすにはどうすればいいだろうか
- ▼インターネット環境が不便だから日野町に若者が住まないという意見を聞いている
- ▼町公民館は、地域に管理委託してはどうだろうか。公民館の使い方については住民で考える必要がある
- ▼今後どうしていくのか、町の総合計画や過疎計画を見据えて方向性を出したい
- ▼先日のさきもり隊活動について。



住民の医療を担う日野病院

終わった後の交流会の賄いまかなが大変なので、交流会なしで作業だけ行うほうが目的がはっきりして良いかもしれない。高齢化が進んでいる集落では作業の際に仕出しを取った所もあるらしい。活動がかえって負担になっても困る

▼今回は初めての試みだったので、A班として何をするか考えたい

## テーマ「過疎・高齢化」について

### ■B班の討議内容

#### 【主な意見】

- ▼さきもり隊の感想として、引き受ける側の負担を軽くすることが必要だと思った。作業後の交流が人と人のつながりの元になるのは分かるが、元気のよい集落でないと無理かもしれない
- ▼交流会もさきもり隊で担当すればいいと思う。農作業をしなくても、食事係なら参加するという人もいるかもしれない
- ▼農作業だけでなく人の交流も目的だというさきもり隊の思いを地元の人に受け止めてもらわないことには広がっていかないと思う
- ▼地元の人には喜んでいて。山間集落はみんなが集まって話をするのが少ない。そういう場を提供することも目的の一つ。そうしたことの積み重ねがまちづくりになるのではないか
- ▼ほかの地域が受け入れることができるかどうかは課題
- ▼地域に理解してもらえよう、



町外の若者とも交流を

- ▼「つげもの百人会」については、広報活動に力を入れたい
- ▼学校給食に出せるよう業者に登録しておいた。大夢多夢やJA女性会、菅福元気邑などの既存グループとの調整が難しいが、問題提起にもなるので、とにかく動いてみる必要がある

## テーマ「産業の振興」について

### ■C班の討議内容

#### 【主な意見】

- ▼さきもり隊の活動を見て、C班でも何かしたいという気持ちになった。第1期の町民会議では、金持で井手さらいをしたこともある
- ▼農地レンタルについて。農地の完全貸し出しと市民農園の2つがある。ショートステイ(短期滞在)といった形で実施しているところもある
- ▼市民農園は互いにメリットがあると思う。家と農地をセットで提供する方法もある
- ▼町が窓口になって農地を貸したい人、借りたい人を結びつけることはできないか
- ▼私の集落では、農地を貸すより借りたい人のほうが多い。農地を荒らすくらいなら作った方がいい
- ▼水田は水利の問題があつて借りるのは難しいが、畑ならあるかもしれない。日帰りでできるような場所があれば、自分で作ったものは安心できる
- ▼農地の貸し借りには制約があるが、アンケートなどでとりあえず希望を取ることからスタートして、活用方法を検討してみたらどうか



豊かな農地を活用したい